

組織の活力を維持していくための職員の採用数と人員削減について

- 組織の活力を長期的に維持していくためには、職員の年齢構成が大きく歪むことのないよう、定員の削減を進めつつも、一定規模の新卒職員の採用を継続していくことが不可欠。
- このため、人員削減計画を検討するに当たっては、毎年度の退職者の見込み数や、必要な採用数の規模とのバランスを図ることが必要。
- なお、平成17年度の退職見込み数は、定年退職と自己都合退職を含め、400名程度と見込んでいる。

(人)

社会保険庁の年齢別職員数(平成16年7月1日現在)

